

赤石川ダム 水質調査結果

採水日：昭和 62 年 12 月 18 日

調査項目	地点名	川平橋	ダムサイト	赤石川上流	竹の迫川	分析 方法	
調査日時	日時	9:00	9:30	10:30	11:30	河川水質試験方法(案)	
採水水深	m	0.40	0.90	0.50	0.20		
天 候		はれ	はれ	はれ	はれ		
気 温	℃	1.5	0.5	3.0	3.0		
水 温	℃	6.0	6.0	6.0	8.0		
透 明 度	m	0.50以上	0.50以上	0.50以上	0.50以上		
水 色	水色番号	6	7	7	6		
生 活 環 境 項 目	水素イオン濃度	pH/℃	7.03/16.0	7.15/18.0	7.07/18.0	7.05/16.0	4.2.1 標準法 ガラス電極法
	生物化学的酸素要求量	(BOD) g/l	0.2	0.5	0.1	0.2	7.4 標準法 一般希釈法
	化学的酸素要求量	(COD) g/l	1.0	1.2	0.9	0.6	8.3.1 標準法 CODMn法
	浮遊物質量	(SS) g/l	1.3	1.7	1.2	0.4	9.3.1 標準法 GFPろ過法
	溶存酸素量	(DO) g/l	12.65	12.70	12.72	11.79	6.4.1 標準法 ウィンクラーアジ化ナトリウム変法
	大腸菌群数	NPN/100ml	170	490	1300	ND<2	51.3.1 標準法 BGLB培地直接MPN法
	濁度	(Tub)	1.6	2.5	2.1	0.5	2.3.1 標準法1 積分球式測定法
	導電率	(EC) μS/cm	70.3	70.8	71.2	57.7	3.3.1 標準法 白金黒電極法
	総窒素	(T-N) mg/l	330	240	220	480	46.5.3.1 標準法1 計算による方法
	亜硝酸態窒素	(NO ₂ -N) mg/l	2	2	2	1	46.2.3.1 標準法 吸光光度法(スルファニルアミド・ナフチルエチレンジアミン法)
硝酸態窒素	(NO ₃ -N) mg/l	268	167	155	366	46.3.3.1 標準法 吸光光度法(カドミウム・銅カラム還元法)	
アンモニウム態窒素	(NH ₄ -N) mg/l	ND<20	ND<20	ND<20	ND<20	46.1.3.2 標準法2 水蒸気蒸留・インドフェノール法	
有機態窒素	(O-N) mg/l	60	70	60	100	46.4.3.1 標準法2 ケルダール分解・水蒸気蒸留インドフェノール法	
ケルダール態窒素	(K-N) mg/l	60	70	60	110	46.4.3.1 標準法2に準ずる	
総リン	(T-P) mg/l	17	18	24	34	47.2.3.2 参考法 硫酸・硝酸分解-吸光光度法	
オルトリン酸態リン	(PO ₄ -P) mg/l	15	15	17	24	47.1.3.1 標準法 吸光光度法(アスコルビン酸法)	
溶解性総リン	(S-T-P) mg/l	12	12	20	24	0.5μm GFPろ過後 47.2.3.2 参考法 硫酸・硝酸分解-吸光光度法	
溶解性オルトリン酸態リン(S-PO ₄ -P)	mg/l	11	11	16	23	0.5μm GFPろ過後 47.1.3.1 標準法 吸光光度法(アスコルビン酸法)	
総有機態炭素	(TOC) g/l					48.3.1 標準法1 高温燃焼法	
総クロロフィル	mg/l					50.4.1 標準法 吸光光度法(三波長法)	
クロロフィルa	mg/l					50.4.1 標準法 吸光光度法(三波長法)	
塩化物イオン	(Cl ⁻) g/l					39.3.1 標準法 硝酸銀(クロム酸)法	
カドミウム	(Cd) g/l					19.4.1 標準法 原子吸光法(DDTC-MIBK抽出法)	
シアン	(CN) g/l					11.4.1 標準法 吸光光度法(4-ピリジンカルボン酸-ピラソロン法)	
有機リン	(O-P) g/l					12.3.1 標準法 ガスクロマトグラフ法	
鉛	(Pb) g/l					20.4.1 標準法 原子吸光法(DDTC-MIBK抽出法)	
六価クロム	(Cr ⁶⁺) g/l					21.2.2.1 標準法1 吸光光度法(ジフェニルカルバジド法)	
砒素	(As) g/l					22.3.1 標準法1 吸光光度法(Ag-DDTC法)	
総水銀	(T-Hg) g/l					23.1.2.1 標準法1 原子吸光法(還元気化法)	
アルキル水銀	(R-Hg) g/l					23.2.2.1 標準法 ガスクロマトグラフ法	
PCB	(PCB) g/l					13.3.1 標準法 ガスクロマトグラフ法	

(注)ND：検出されず。